

- 令和3年1月7日に、4学期始業式を行いました。前回に続き、新型コロナウイルス感染防止のため、校内放送から流れる始業式式辞を教室で聞きました。

- 以下は校長式辞です。



毎日144,000円が振り込まれる銀行

明けましておめでとうございます。この冬休みの期間、充実した生活を送れたでしょうか。今日から4学期が始まります。短い4学期ですが、皆さんにとって充実した4学期になることを願います。

さて、みなさんはどんな抱負を持ってこの一年を迎えたでしょう。目標や夢、達成したいこと、これらが明確であればあるほど人は充実した1年を送ることができるものです。

夢と言えば、校長先生はお正月にこんな夢を見ました。

夢の中で私は、ある銀行のATMに立ち寄り、カードを入れてお金をおろしました。1万円を引き出したので残高は確か2万円ぐらいかなと思ってATMの画面を確かめると、なんと口座の残高は、134,000円となっていました。

えっ！と思い、もう一度確かめたのですが、残高は間違いありませんでした。

なぜ、10万円以上も増えたのか、いろいろ思いを巡らしましたが、これと言ってなにも思いつかず、そうこうしているうちに銀行の残高のことは忘れていました。

翌日、ふと銀行口座のことを思い出して、銀行のATMに立ち寄り、今回はまず残高を確かめました。すると、144,000円の残高がありました。昨日おろしたはずの1万円は帳消しになって144,000円に戻っていました。

もしかして、これは使っても、また元にもどる仕組みなのかもしれないと思い、今度は使うあてもないのに3万円を引き出しました。3万円を引き出した後に、少し時間をおいて残高を確かめると114,000円の残高でした。どうやら、引き出したお金がすぐに元にもどるのではないとわかりました。

翌日、当然銀行のATMに行きました。どうかまた、144,000円になっていきますように！と祈るような気持ちで残高を見ました。いくらあったと思いますか。そうです。やはり144,000円ありました。これは！と思い、今回は、全額引き落とししましたので、144,000円を手に入れました。

でも、不思議な気持ちでした。どういうことなのだろうか。誰かに試されているのだろうか。誰かにこのことを言ったらその瞬間にこれが終わったりして、などなどいろいろ考えました。

みなさん、毎日あなたの銀行口座に144,000円ずつ振り込まれているとしたら、どうしますか。このお金は、その日に使わないと残額が0になります。でも翌日には、144,000円がまた振り込まれているのです。

こんな銀行があれば最高ですね！

でも、この銀行はみんなが、世界中のみんなが平等に持っている銀行なのです。この銀行の名前は何かという銀行でしょうか。わかりましたか。

はいそうです。「じかん銀行」という名前の銀行です。

世界中のすべての人に60分×24時間＝1440分という時間が振り込まれます。使っても、使わなくても翌日にはまた、1440分が振り込まれます。

今年2021年の365日で525,600分、8760時間が私たちに振り込まれます。どう使いますか。

冒頭でお話しましたが、目標や夢を持っている人ほど、時間は有意義に使えるものです。そのためには、2つのことを考えてください。

一つ目は自分の将来の姿を考えること、10年後、どんな姿でどんなことに燃えているかを想像すること。

二つ目は、自分が住んでいる地域の未来を想像し、何が足りないのか、何を足せばいいのかという思考を続けることです。

2021年が自分にとって、良い意味でのターニングポイントになるよう、2つのことを考え、そして、それを行動に移せる年にしてください。

以上をもって4学期の式辞とします。